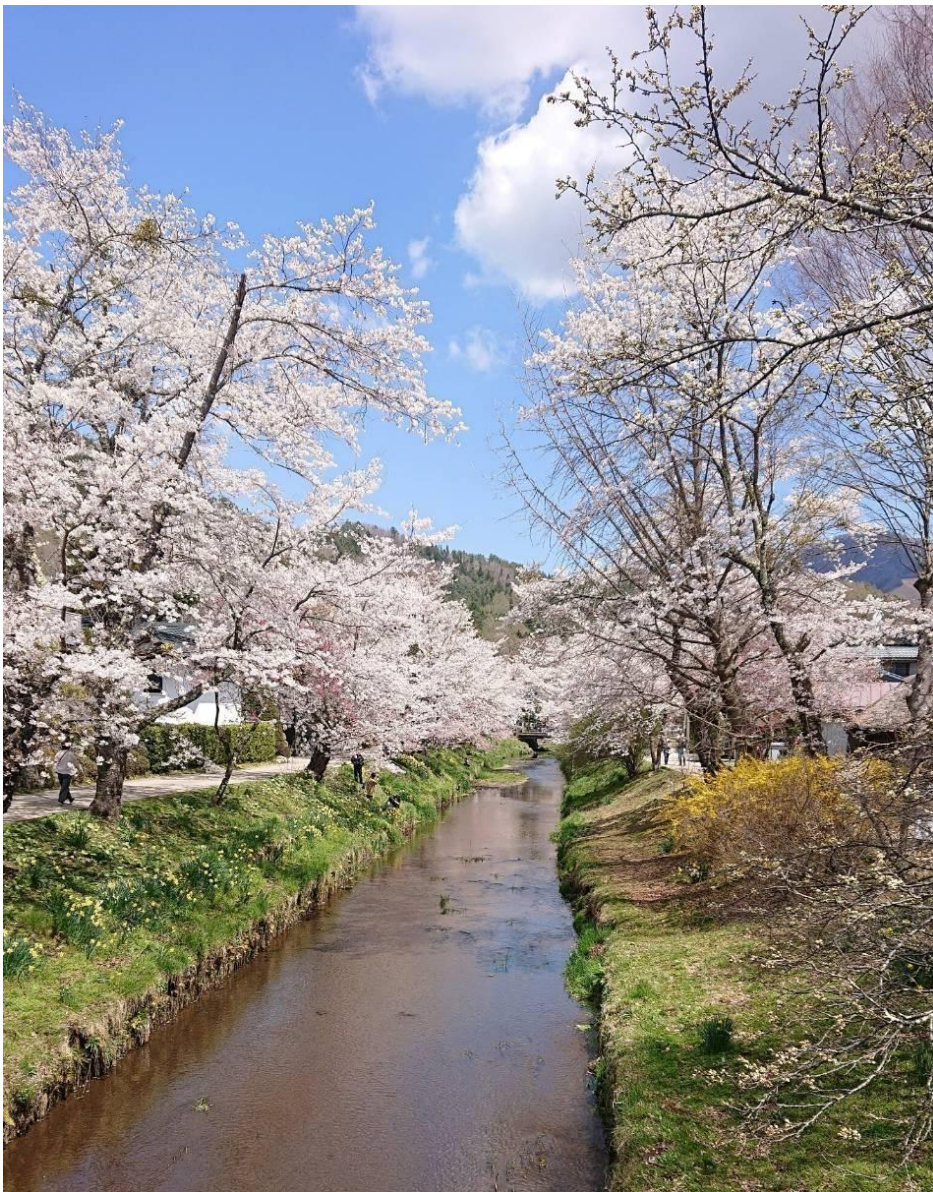


四月卯月は桜色

奥村 俊三

職場の先輩が話しかけてきた。「一月は往ぬ、二月は逃げる、三月は去る。じゃあ、四月はなんていうか知ってる？」はて、何とのか、考えていると「四月は新学期、目がまわるのだ」と言われて苦笑したことがあった。忙しくて目が倒れて四になったか。近くには、赴任したばかりの職員もいた。そんな時期ではあるが、手をやすめて顔を上げれば春爛漫である。

「時間は岸辺のない川」(Time is a river without banks) という。  
顔を上げて、このひとときを慈しみたい。



写真は、山梨県忍野八海